

# 若さでがんばってます

237

今回は中央区の

**森田 陽さん (25歳)**

を紹介します。

## 将来は児童館の名物先生



— 今までは。  
東京で七年間の人生の修業を終え、この春から、普代児童館で働いています。  
— 仕事の内容は。  
すべり台の次に大きい遊具として、子どもたちと遊んでいます。  
— 職場で心掛けていることは。  
常に子どもの目線で。  
— 今の仕事についての理由は。  
とにかく子どもが大好きで、大切だからです。  
— 仕事が休みの日は何をしていますか。

□ ロックンロール

— 今、してみたいことは。  
子どもたちと、泥んこプールで遊ぶ。

— 趣味、特技は。

料理、おしゃべり、ロックンロール

— 好きな言葉 (信条) は。

出会った方には、一生友達

— 理想の女性像と結婚は。

同じ目標を持って、人生を歩

んでいける人。結婚は…毎月、

広報の最後のページをチエック

してください。

— 将来のあなたは。

普代児童館の名物先生として

今と変わらず、ずっと子どもた

ちと触れ合っていたいです。

— これからの村に期待するものは何ですか

もっと幼児教育の重要性を理

解してもらいたいです。そして、

それを村中に浸透させて欲しい

です。

— 最後にあなたのPRを。

とにかく楽しいことが大好き

です。みんなで楽しいことをい

っぱいしましょう。

— 次回はどなたを紹介してくだ

さいですか。

堀内の坂上豊和さんです。

### 『光に向かって 100の花束』

高森 顕徹



「百以上のおとぎ話や有益な話を知らなければ、親の資格がない」とある教育者は言い切っています。

歴史上の人物の成功談や失敗談など、面白い話を百編選び、小さい魂に奮発心を呼び起こし不屈の精神を培うための一冊です。(二万年堂出版)

### 『自分の木』の下で

大江健三郎

なぜ、子どもは学校に行かなくてはいけない？

素朴な疑問に、ノーベル賞作家は



優しく、深く、思いでも込めて答える。子どもから大人までに贈る十六のメッセージは、心の底にとどまる感動のエッセイです。(朝日新聞社)

### 『つばさ』全2冊

ダニエル・スティール

「パイロットになるなんて絶対ダメだ!」父親の大反対も何のその。内緒のレッスンで高等操縦術をマスターするおてんば娘のキャシー。



やがて、彼女に訪れる天国と地獄が交差する自由への道。あなただったらどちらを選択? 歩むのはあなた。ニューヨーク・タイムズ・ベストセラー第一位。(アカデミー出版)

### 『暁の超特急』

辺見 じゅん

昭和初期、陸上百歳で世界大記録を三度も打ち立てた名スプリンターがいた。

「暁の超特急」の異名をとったその人の名は、吉岡隆徳。天性のスプリントと人一倍の努力で、世界を駆け抜けた男の情熱と感動の物語 (松江今井書店)



## 図書館漫話